

令和2年3月31日

## 令和元年度の主な公益的取組等の実施状況

社会福祉法人つばさ福祉会

### 公益事業

#### 令和元年度父の夢日中ショートステイ事業報告書

障害者総合福祉法に基づく地域生活支援事業として「日中一時支援事業」を福島市、伊達市、二本松市より受託し「父の夢日中ショートステイ」として知的障害児・者の方々が地域で生活しやすいように支援することを目的とし事業を行った。児童では、保護者の就労や諸事情等で、放課後家庭での対応が困難なため利用する方が多く、特に（14：30～18：00）までの時間帯に利用が集中した。また知的障害者では、父の夢の利用者が多く稼働時間外の（15：30～18：30）までの時間帯に利用が集中した。そのため15：30～18：00までの間に児童と者の利用予約が重なることが多かった。利用中は利用者本人の希望する過ごし方を尊重し、本やDVDを見たり、CDを聴いたり、持参したおやつを食べたりと利用者個々人が、思い思いに過ごすことができていた。今年度も昨年度同様、iPadを使用する利用者が多く、自分の興味のあるものを検索して見ている。

#### 令和元年度おおぞらの夢日中ショートステイ事業報告書

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として「日中一時支援事業」を福島市、伊達市より受託し「おおぞらの夢日中ショートステイ」として知的障害児・者の方々が地域で生活しやすいように支援することを目的とし事業を行った。児童では、令和元年度保護者の就労や諸事情等で、放課後家庭での対応が困難なため利用する方が2名利用された。また知的障害者では、登録者の全てが、おおぞらの夢、新おおぞらの夢、ニコの夢の方で稼働時間外（8：00～9：00、15：30～18：30）の時間帯に利用が集中した。利用中は利用者本人の希望する過ごし方を尊重し、ビデオやDVDを見たり、CDを聴いたり、持参したおやつを食べたりと利用者個々人が、思い思いに過ごすことができていた。また、iPadを使用する利用者が多く、自分の興味のあるものを検索して見ている。

#### 令和元年度レスパイト事業ブライトハウス事業報告書

レスパイトサービス「ブライトハウス」は法人独自の事業ではあり、地域の実情に応じた福祉サービスとして「地域における公益的な取組」（地域貢献活動）として位置付け支援サービスを行った。

知的障害児（者）及びその家族に対して手軽に利用出来る支援サービスを行ない、障害福祉の増進・家庭生活の安定を目的とし運営してきた。支援サービス内容として国や市町村の福祉制度では満たせない福祉サービス（宿泊支援・日中支援）を行った。

## 令和元年度生活協力員（生活アシスタント）紹介事業事業報告書

市町村障害者社会参加促進事業の知的障害者支援で生活協力員（生活アシスタント）紹介事業を、平成 31 年 4 月 1 日に実施委託契約書を交した。利用登録者に増減はなく、アシスタント登録者も定着し、事故もなく安定した活動が行われた。利用内容としては、余暇活動等レクリエーション、買いもの援助の他、お話し相手等の自宅援助が多かった。福島市の委託費の観点から、利用にあたっては昨年同様、利用回数や予約の確認を必要としており、公平性を保ちながら活動した。年度途中での生活協力員（生活アシスタント）登録者には、在宅福祉サービス総合補償等の保険に加入してから、生活アシスタントとして活動することが必要であり、生活アシスタント登録者の登録期間の確認を行うことと、活動中における安全面や、衛生面への配慮も大切である。

## 令和元年度県北障害者就業・生活支援センター事業報告書

国の委託事業（雇用安定等事業）及び県の委託事業（生活支援事業）として、一般就労を目指す障がい者を対象に就業支援員と生活支援員が地域の専門機関及び支援機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行った。（設置年数満 10 年・サポートセンターを含めると満 13 年）。